

2017年度 近隣センター移転計画対策委員会議事録

1. 日時 : 2018年2月22日(木) 19:00~20:30
2. 場所 : 東町会館1階集会室
3. 出席者 : 小川委員長(OPH)、清水副委員長(シニア)
勝久・原・福岡鈴(以上、協議会理事)、石丸(公民分館)
常川(桜ヶ丘)、福岡正(UR都市機構)、太田(街角広場)
西田(街角広場)
以上10名
欠席 : 伏原、山地
オブザーバー : 坪井、岩崎(豊中市千里ニュータウン再生推進課)

1. 豊中市千里NT再生推進課よりの説明

配布資料「市街地再開発事業(組合施工)による移転建替えスケジュール」

「地区会館の検討(新地区会館レイアウト図)」に基づき、これまでの経緯、事業の現状、今後のスケジュールの説明が以下の通りありました。

- ・現在、地権者は16名である。
- ・移転建替えに関し、これまでは準備組合(任意団体)であり、事業協力者として長谷工コーポレーションがレイアウト図等を作成していた。
- ・2018年5月末、組合設立(大阪府の認可手続きが必要)を経て、2019年1月に権利変換計画認可を行う予定。
- ・マンションデベロッパー(参加組合員)としては、三井不動産レジデンシャル・長谷工コーポレーション・総合地所の3社となった。
- ・ゼネコン(特定業務代行者)は長谷工コーポレーション。

*府営住宅の解体(2018年6月~11月)、新近隣センター工事、地区会館解体・工事、西側民間マンション工事などについては資料を参照下さい。

上記事項を含む地域説明会を2018年秋頃に開催の予定。

2. 新地区会館の詳細設計について

基本設計レベルが確定した新地区会館に関し、内装面(カーテン、上履き仕様など)や外観面に関する詳細設計は、平成31年度夏から検討開始との説明がありました。

*外観面に関して、地区会館単独ではなく、アソカ幼稚園、医療センター（鳥辺医院）や新築されるマンション等、まわりとの調和を考慮し検討していく事で合意しました。（ワークショップ開催を含む）

また、現在集会室の利用者にはシニアも多く、反面こども会、子育てサロン等、子ども・乳幼児の利用者も増加したことから、これまでの床・フローリング仕様のみでは寒く、冷たいとの意見がありました。

豊中市として「床暖房」を導入する事は可能なのか担当部署へ確認を取って頂く事とし、次年度計画案として床暖房を導入している施設を見学する事としました。（メリットや対費用効果など）

3. ワークショップの開催

地域自治協議会として、広く地域住民から意見・希望を募るため、数回程度のワークショップを開催し、意見集約を図る事としました。（現時点、開催時期未定）

また、平面図面のみではなく、立体模型を作るなど、目で見て近隣建造物、道路との関係性を理解出来るものを可能ならば作成する事としました。

4. 次年度事業計画案、予算案

- ・他地域の施設見学
- ・ワークショップの開催（内装、外観などの検討、意見集約）

旅費交通費：5,000 円

講師謝礼金：15,000 円（立体模型作成費を含む）

以上